

明見保育園運営規程

(事業所の名称等)

第1条 社会福祉法人明見福祉会が設置するこの保育園の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- (1) 名称 明見保育園
- (2) 所在地 嘉麻市下山田469-12

(施設の目的及び運営方針)

第2条 明見保育園（以下「当園」という。）は、保育を必要とする乳児及び幼児を日々受け入れ、保育事業を行うことを目的とする。

- 2 当園は、保育の提供に当たっては、入園する乳児及び幼児（以下「園児」という。）の最善の利益を考慮し、その福祉を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場を提供するよう努めるものとする。
- 3 当園は、保育に関する専門性を有する職員が、家庭との緊密な連携の下に、園児の状況や発達過程を踏まえ、養護及び教育を一体的に行うものとする。
- 4 当園は、園児の属する家庭や地域との様々な社会資源との連携を図りながら、園児の保護者に対する支援及び地域の子育て家庭に対する支援等を行うよう努めるものとする。
- 5 当園は、「福岡県児童福祉施設の設備及び運営の基準に関する条例（平成24年福岡県条例第56号）」その他関係法令を遵守し、事業を実施するものとする。

(利用定員)

第3条 当園の利用定員は、子ども・子育て支援法（平成24年法律第65号。以下「法」という。）第19条第1項各号に掲げる小学校就学前子どもの区分ごとに、次のとおり定める。

- (1) 法第19条第1項第2号の子ども（保育を必要とする3歳以上児。以下「2号認定こども」という。） 30人
- (2) 法第19条第1項第3号の子ども（保育を必要とする3歳未満児。以下「3号認定子ども」という。）のうち、満1歳以上の子ども 24人
- (3) 3号認定子どものうち、満1歳未満の子ども 6人

(提供する保育等の内容)

第4条 当園は、保育所保育指針（平成20年3月28日厚生労働省告示第141号）に基づき、以下に掲げる保育その他の便宜の提供を行う。

- (1) 特定教育・保育（法第27条第1項に規定する特定教育・保育をいう。以下同じ。） 支給認定を受けた保護者（以下「支給認定保護者」という。）に係る園児に対し、当該支給認定における保育必要量（法第20条第3項に規定する保育必要量をいう。以下同じ。）の範囲内において保育を提供する。
- (2) 時間外保育 やむを得ない理由により、支給認定における保育必要量の範囲を超えて保育を必要とする場合は、当該支給認定に係る園児に対し、第7条第2号後段に規定する時間の範囲内において、法第59条第2号に規定する時間外保育を提供する。
- (3) 食事の提供
- (4) その他保育に係る行事等

(職員の職種、員数及び職務の内容)

第5条 保育の実施に当たり配置する職員の職種、員数及び職務内容は、次のとおりとする。

- (1) 園長 1名(常勤) 園長は、職員及び業務の管理を一元的に行い、職員に対し法令等を遵守させるため必要な指揮命令を行うとともに、園児を全体的に把握し、園務をつかさどる。
- (2) 主任保育士 1名(常勤) 主任保育士は、地域の保護者等に対する子育て支援を行うとともに、保育内容について他の保育士を統括する。
- (3) 保育士 児童福祉法（昭和二十二年法律第百六十四号）の児童の福祉施設最低基準33条の職員の規定数に定める。保育計画の立案、実施、記録及び家庭連絡等の業務を行う。
- (4) 調理員 調理員として2人以上の常勤をおくこと。献立に基づき給食及びおやつを調理し、調理等関連事務の業務を行う。
- (5) その他の職員

障がい児加配 保育を必要とする心身に障害のある児童を受け入れ、保育を実施することにより、社会性及び心身の発達を支援し、児童福祉の向上を図ることを目的とする。

(保育を提供する日)

第6条 保育を提供する日は、月曜日から土曜日までとする。ただし、年末年始（12月29日から1月3日）及び祝祭日を除く。

（保育を提供する時間）

第7条 保育を提供する時間は、次のとおりとする。

（1） 保育標準時間認定に係る保育時間 7時30分から18時30分までの範囲内で、保護者が保育を必要とする時間とする。

（2） 保育短時間認定に係る保育時間 8時30分から16時30分までの範囲内で、保護者が保育を必要とする時間とする。

なお、上記以外の時間帯において、やむを得ない理由により保育が必要な場合は、7時30分から8時30分まで又は16時30分から18時30分までの範囲内で、時間外保育を提供する。

（利用者負担その他の費用の種類）

第8条 当園の特定保育を利用した支給認定保護者は、その支給認定を受けた市町村に対し、当該市町村の定める利用者負担金（保育料）を支払うものとする。

2 当園は、支給認定申請から認定の効力が発生する日までの間において、災害等の緊急その他やむを得ない理由により保育を提供した場合については、当該保護者から特定教育・保育基準費用額（法第28条第2項第1号に規定する内閣総理大臣が定める基準により算定した費用の額をいう。）の支払を受けるものとする。この場合、当該保護者が適切に教育・保育給付を受けられるよう、特定教育・保育提供証明書の交付その他必要な措置を講じるものとする。

3 当園は、前項の支払を受けるほか、特定教育・保育等の提供における便宜に要する費用のうち、別表に掲げる費用の支払を受けるものとし、その支払いを受けたときは領収書を交付する。

（利用の開始に関する事項）

第9条 当園は、嘉麻市から、嘉麻市及びその他の市町村からの保育の実施について委託を受けたときは、これに応じるものとする。

（利用の終了に関する事項）

第10条 当園は、以下の場合には保育の提供を終了するものとする。

（1） 園児が小学校に就学したとき。

（2） 2号認定子ども及び3号認定子どもの支給認定保護者が、法に定

める支給要件に該当しなくなったとき。

(3) その他、利用の継続について重大な支障又は困難が生じたとき。

(緊急時における対応方法)

第11条 当園の職員は、保育の提供を行っているときに、園児に病状の急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに嘱託医又は園児の主治医に連絡する等、必要な措置を講じるものとする。

2 保育の提供により事故が発生した場合は、嘉麻市及び園児の保護者等に連絡するとともに、必要な措置を講じるものとする。

3 当園は、事故の状況や事故に際して採った処置について記録するとともに、事故発生の原因を解明し、再発防止のための対策を講じるものとする。

4 園児に対する保育の提供により賠償すべき事故が発生した場合には、損害賠償を速やかに行うものとする。

(非常災害対策)

第12条 非常災害に備えて、消防計画等を作成し、防火管理者又は火気・消防等についての責任者を定め、少なくとも毎月1回以上、避難及び消火に係る訓練を実施するものとする。

(虐待の防止のための措置)

第13条 当園は、園児の人権の擁護及び虐待の防止を図るため、責任者の設置その他必要な体制の整備を行うとともに、職員に対する研修の実施その他必要な措置を講じるものとする。

(記録の整備)

第14条 当園は、保育の提供に関する以下に掲げる記録を整備し、その完結の日から5年間保存するものとする。

(1) 保育の実施に当たっての計画

(2) 提供した保育に係る提供記録

(3) 特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準（平成26年内閣府令第39号）第19条に規定する市町村への通知に係る記録

(4) 保護者からの苦情の内容等の記録

(5) 事故の状況及び事故に際して採った処置についての記録

附 則

この規程は、平成30年4月1日から施行する。

この規程は、令和元年10月1日に改正し、施行する。

別表（第8条関係）

1 保育の提供に要する実費に係る利用者負担金

項目	内容、負担を求める理由及び目的	金額
保険に係る費用	日本スポーツ振興センター 保護者負担分（全園児）	年額 300円
主食費	入園時で多数決にて決定の 場合（3才以上児全員）	月額 1000円
延長保育料	第7条第2号に規定する時 間外保育に係る料金	30分ごとに 100円
2号認定園児に係 る副食費	食事の提供に要する費用を 徴収（所得により副食費免 除）	月額 4500円